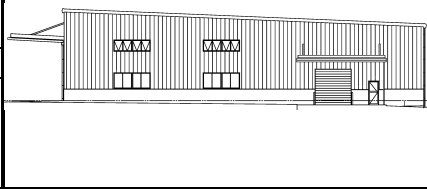


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	共和産業株式会社鮮魚作業所新築	階数	地上1F
建設地	鳥取県境港市昭和町13-19、13-17	構造	S造
用途地域	都市計画区域(工業専用地域)	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年8月20日
敷地面積	6,089 m ²	作成者	足立 收平
建築面積	2,452 m ²	確認日	2018年8月21日
延床面積	2,103 m ²	確認者	足立 收平



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネ器具の採用により、二酸化炭素排出の低減に努めている。	その他
Q1 室内環境	評価対象外	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	LED照明器具を採用し、省エネルギー化に努めている。	Q3 室外環境(敷地内)
		建物高さ、外装、屋根等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランス良く調和させている。
		LR2 資源・マテリアル
		発泡剤を用いた断熱材を使用していない。
		LR3 敷地外環境
		広告物照明を行ってならず、光害対策に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される